

令和3年度英語部「北上川ヨシ（葦）入り石けん製作から迫るSDGs活動」発表について
宮城県仙台二華中学校・高等学校

日 時	令和3年6月～9月まで5ヶ月間の活動（本校および地域）
参加生徒	本校 英語部 20名
内 容	(1) SDGs や環境問題、ヨシについての学校での話し合い、情報収集、研究 (2) 北上川でのヨシ狩り（2回） (3) NPO「わらしべ舎」での石けん作り見学と実践（2回） (4) ヨシの抽出作業2回 (5) 文化祭でのヨシ入り石けんの販売 等

「北上川のヨシ（葦）入り石けん誕生までのストーリー」

本校中学校・高校は毎年、環境学習・ユネスコ活動の一環として北上川の環境体験学習活動を行っていますが、それらは単発の活動で終わっていることが課題でした。そこでアクションを起こしたのが、英語部です。高校英語部では、普段から国際理解の一環として国連が定めたSDGs（持続可能な開発目標）に関する様々な活動を行っています。そこで創案したのが、ヨシ（葦）を活用した人間と自然の共生、循環、環境保護活動です。

2019年からプロジェクトを開始し、その年は北上川のヨシの価値を広める啓蒙活動の一環として、ヨシを使ったクッキーを開発し好評を博しました。今後も継続したいと考えていた矢先、2020年から2022年1月の現在に至るまで、2年以上にもわたり、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。人と人の接触機会の制限、文化祭における食品販売の禁止等、厳しい条件が設けられ、実質的に食品である「クッキー」を販売することが禁じられ、不可能となりました。ここでヨシプロジェクトを終わらせるわけにはいかない、と部員が奮起し、意見・アイデアを出し合いました。そこで、考え出したのが、北上川のヨシ（葦）入り「石けん」でした。「手洗い」が励行されるなか、「コロナ対策にもなる」という発想で、石けん開発に乗り出したのです。

今回は、前回に引き続き、北上町の熊谷産業さんにヨシ狩りの御指導と御協力をいただき、石けん制作には、長町のNPO法人「わらしべ舎」さんに御協力いただくことができました。地域とつながる大切さを学んだようです。

活動の経緯（英語部生徒作成パンフレットより）



ヨシとはイネ科に属する、水際に高い群落を形成して生息している植物で、水質浄化作用があります。英語部では世界に目を向け、SDGsに関わる活動をしています。その一環としてヨシを利用した石鹸を作ることになりました。私たちの住んでいる宮城県にある北上川には葦が広く分布するヨシ原があり、多様な生物の生息地となっており、環境省選定の「残したい日本の音100選」にも選ばれています。私たちの活動は、ヨシの重要性をアピールし、認知度を高めていくことを目標としています。

石鹼製作工程

石鹼製作では、すべての作業を手作業で行いました。



ヨシの煮沸



ヨシエキス抽出



ヨシエキスと他の材料を混合



型に注ぎ込む

「二華高校英語部・文化祭」

思いの詰まったヨシ石けんを、活動報告とともに仙台二華中高文化祭で販売したところ、コロナ対策で一般客の入場は禁止となり、校内の生徒のみを対象とした文化祭であったにもかかわらず、中学生にも高校生にも、そして教職員にも興味を持っていただき、とたいへん好評でした。50個作成・販売した石けんは、1日間の文化祭であつという間に完売してしまいました。もっと多くの方に手にとって欲しい、使って欲しい、との思いから、「予約」を受け付けることにし、さらに50個追加で作成することにしました。文化祭と「ヨシ入り石けん」については、新聞（朝刊）にも大きく取り上げられました。



北上川ヨシ石鹼

仙台二華高校 英語部 SDGs班



今回の2021ヨシプロジェクトにあたって、以下の企業及びNPOにお世話になりました。

- ・熊谷産業株式会社
- ・社会福祉法人わらしべ舎 西多賀工房

熊谷産業の皆様にはヨシの刈り取りで、わらしべ舎の皆様には石鹼の製作でお世話となりました。今回この製品の販売を実現することができたのは、この2団体の皆様のご協力のおかげです。この場を借りて、感謝申し上げます。